

5. 発表申し込み

次の から をハガキにて、平成18年1月27日（締め切り厳守）までに、下記まで送付してください。

送付先：〒606-8502京都市左京区北白川追分町、京都大学農学研究科森林科学専攻、山地保全学分野、里深好文研究発表題目

発表内容を示すキーワード

プログラムの参考にしたいので、下記の分野から第1希望、第2希望を選んでお書き下さい。

一般テーマ別セッションのテーマ1～3、土砂流出、土石流、雪崩、水文、環境砂防、砂防構造物、地震、斜面崩壊、緑化、斜面安定、地すべり、警戒・避難、火山砂防、砂防計画、砂防事業、施工管理、指定地管理、その他（ ）

第1希望（ ）、第2希望（ ）

発表形式

- a. テーマ別セッション b. 一般口頭発表
c. ポスターセッション d. どちらでもよい

*いずれか希望の形式をお選び下さい。特に、a. のテーマ別セッションをご希望の方は、a. に加えてb. からd. までのいずれか希望の形式をご記入下さい。例）a. またはb.

ただし、全体の構成からご希望に添えない場合があります。

発表者と共同研究者の所属および氏名（連名の場合は発表者の先頭に 印をつけて下さい）

連絡先の住所、氏名、電話番号、FAX 番号、E-mail（注）プログラム構成の関係上、発表申し込みの期限を厳守してください。

6. 概要集掲載原稿の提出期限

平成18年4月2日（締め切り厳守）

（注）印刷の関係上、提出期限以降は受け付けません。

（注）ポスターセッションによる発表についても概要集掲載が必要です。

7. 研究発表要領に関する問い合わせ先

〒606-8502京都市左京区北白川追分町、京都大学農学研究科森林科学専攻、山地保全学分野、里深好文

Tel: 075-753-6092

e-mail: satofuka@kais.kyoto-u.ac.jp

砂防学会研究発表会概要集原稿作成要領

ミスプリント防止のため、原稿をそのまま縮写（95%）し、オフセット印刷により概要集を作成するので、以下の諸点に留意のうえ鮮明な原稿を提出願います。

（1）原稿書体

原稿は原則として、ワープロ打ちもしくはタイプライター打ちとする。

（2）原稿用紙及び文字のサイズ

A4判用紙を用い、図に示すように余白をとり、横180mm、縦257mmの範囲内に収まるように原稿を作成する。1行の文字数及び1ページの行数は自由とする。ただし、文字のサイズは10ポイント（14級）以上とする。

（3）原稿枚数

原稿枚数は2枚とする。1枚あるいは3枚以上は受け付けない。

（4）題名及び氏名

題名は第1行目の中央に書き、1行あけて所属、発表者名（連名の場合は発表者の先頭に 印をつける）を右側に寄せて書く。題名は本文よりやや大きめに書く。1行あけて本文を書き始める。

（5）使用する文字

使用する文字、仮名遣いは、原則として「常用漢字表」、「現代仮名遣い」による。

（6）改行

改行した場合の次の行は、必ず1字あけて書き始める。

（7）文字の割付

句読点、（ ）、：、引用記号及び1桁のアラビア数字には1ますをあて、アルファベット及び2桁以上のアラビア数字には2字で1ますあてる。

（8）見出し番号

本文の章、節等には次の記号を使用すること。

章 1, 2, 3

節 1. 1, 1. 2, 1. 3

節以下 1. 1. 1, 1. 1. 2, 1. 1. 3

（9）参考文献

内容に関係のある参考文献を最後に挙げる。

（10）図表

図表はすべてインキングし、原則として本文の間の所定の位置に挿入する。別紙の図表を張り付ける場合は、セロテープを使用せず、所定の位置に全面のりづけする。この場合、図表等の左右の余白ができたときは、その部分にも本文を記入する。

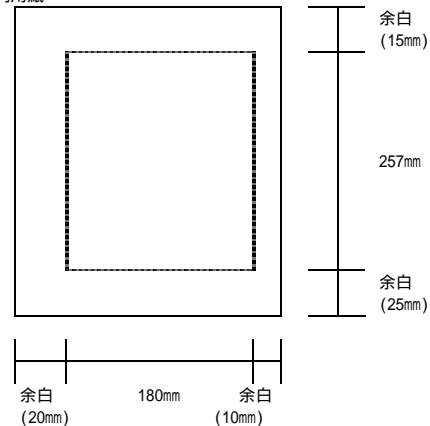
（11）写真

写真を使用する場合は、ネガや印刷物の切抜きではなく、印画紙に焼き付けた原写真を所定の位置にのりづけする。

（12）原稿の取り扱い

原稿のページ数及び表題を鉛筆で欄外に記入する、また、オフセット印刷をする都合上、原稿は、記入または送付にあたって折り曲げたり、汚したりしない。折り曲げ、または汚れがひどい場合は再提出をお願いすることがあります。

A4判用紙



注）上記の例を基本フォームとするが、プリンタの種類によっては上端と下端の余白の和が40mm程度、左端と右端の余白の和が30mm程度であればよい。

